



1-1-3．西区を中心とした播磨の丘陵・平野地帯

西区を中心とした田園地帯は、雑木林とため池、それに最近増えてきた休耕田、さらに明石川水系の中流域などがその特徴です。[ナツアカネ](#)、[アキアカネ](#)、[リスアカネ](#)、[コノシメトンボ](#)、[マユタテアカネ](#)、[ナニワトンボ](#)などのアカトンボがふつうにみられ、放置されて水生植物がたくさん茂ったため池では、[キトンボ](#)、[ネキトンボ](#)、[マイコアカネ](#)などがみられます。湿地状になった[休耕田](#)では、それを好む[ヒメアカネ](#)がいます。



写真1-5．櫛谷町にあるため池．



写真1-6．櫛谷町にあるため池．

ヤンマ類も西区の田園地帯には多くみられます。盛夏の夕方谷筋に入っていくと、[ヤブヤンマ](#)、[ギンヤンマ](#)、[マルタンヤンマ](#)、[カトリヤンマ](#)をはじめ、[ネアカヨシヤンマ](#)も飛ぶことがあります。ヨシのおいしげったため池には[アオヤンマ](#)がいます。[クロスジギンヤンマ](#)は春に雑木林に囲まれたため池をパトロールしています。

いわゆるイトトンボ類も豊富です。西区、垂水区には[アオモンイトトンボ](#)、[キイトトンボ](#)、[ホソミイトトンボ](#)、[アジアイトトンボ](#)、[セスジイトトンボ](#)が多く生活しています。[アオイトトンボ](#)、[ホソミオツネイトトンボ](#)もふつうで、[ベニイトトンボ](#)、[ムスジイトトンボ](#)、[コバネアオイトトンボ](#)、[オツネイトトンボ](#)も限られたため池で見いだされます。

その他、[フタスジサナエ](#)、[オグマサナエ](#)、[ウチワヤンマ](#)などの止水性サナエトンボも多く、最近[タイワンウチワヤンマ](#)がそのなかまに加わりました。[エゾトンボ](#)は湿地と化した[休耕田](#)の上を飛んでいますし、さらに[ベッコウトンボ](#)というレッドデータブックに絶滅危惧種としてのっている種すらいました。そして多くのため池では、[トラフトンボ](#)、[ヨツボシトンボ](#)、[コフキトンボ](#)、[オオヤマトンボ](#)、[コシアキトンボ](#)、[チョウトンボ](#)、周辺では[ハッチョウトンボ](#)や[ハネビロエゾトンボ](#)などがみつかります。明石川水系では、数が少ないものの、[キイロサナエ](#)、[ホンサナエ](#)などのほか、[ハゲロトンボ](#)が多数みられます。

種類数の多さからいえば、西区から垂水区にかけて広がる田園地帯は、神戸におけるトンボの宝庫といえます。



写真1-7．明石川の風景．押部谷町．



写真1-8．淡河川の風景．淡河町．



[デジタル化](#) [新・神戸の自然シリーズ1](#) [神戸のトンボ](#) [メニューへ](#)